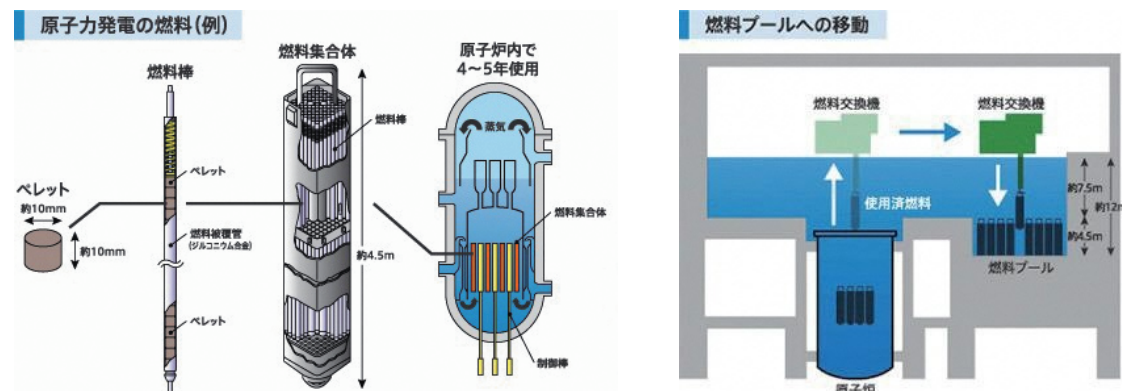


Q 浜岡原子力発電所では、使用済燃料をどのように貯蔵しているのですか?



A 原子力発電の燃料は、ウラン鉱石を加工して焼き固めたペレットと呼ばれるものの集合体です。この燃料集合体を原子炉内で約4年から5年間使用した後に取り出したものを「使用済燃料」と呼びます。

使用済燃料は原子炉から慎重に取り出され、隣接する燃料プールへ移されます。長さ約4.5mの使用済燃料は、放射線を遮るため水の中で丁寧に運ばれ、深さ約12mの燃料プールの底に貯蔵されます。プール内の水は常に循環しており、放射線を遮る役割だけでなく、使用済燃料から発生する熱を冷却する役割も果たしています。このようにして、燃料の安全性を確保しながら、長期間にわたり、安定した貯蔵管理が行われています。



【参考資料】
中部電力株式会社「使用済燃料ってどんなものですか?」(<https://www.chuden.co.jp/energy/nuclear/cycle/qa01/>)
中部電力株式会社「浜岡原子力発電所では、使用済燃料をどのように貯蔵しているのですか?」(<https://www.chuden.co.jp/energy/nuclear/cycle/qa02/>)
中部電力株式会社「浜岡原子力発電所の使用済燃料の行方は?」(<https://www.chuden.co.jp/energy/nuclear/cycle/qa03/>)

浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(令和8年1月~3月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和8年8月5日現在、3号機、4号機及び5号機については定期事業者検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局

静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス: <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1003618/1030308.html>

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp/radiation/home.html>



原子力だより No. 209



燃料プールの燃料ラック内における使用済燃料の保管状況を確認している様子



燃料プール付近に設置した放射線モニタを確認している様子

静岡県と御前崎市は、令和8年5月に浜岡原子力発電所の安全確保を目的とした現場点検を行いました。今回の点検では「使用済燃料の保管状況」と「燃料プール付近に設置している放射線モニタの点検状況」について、保守点検が行われており、安全対策が図られていることを確認しました。

令和8年1月~3月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るため行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

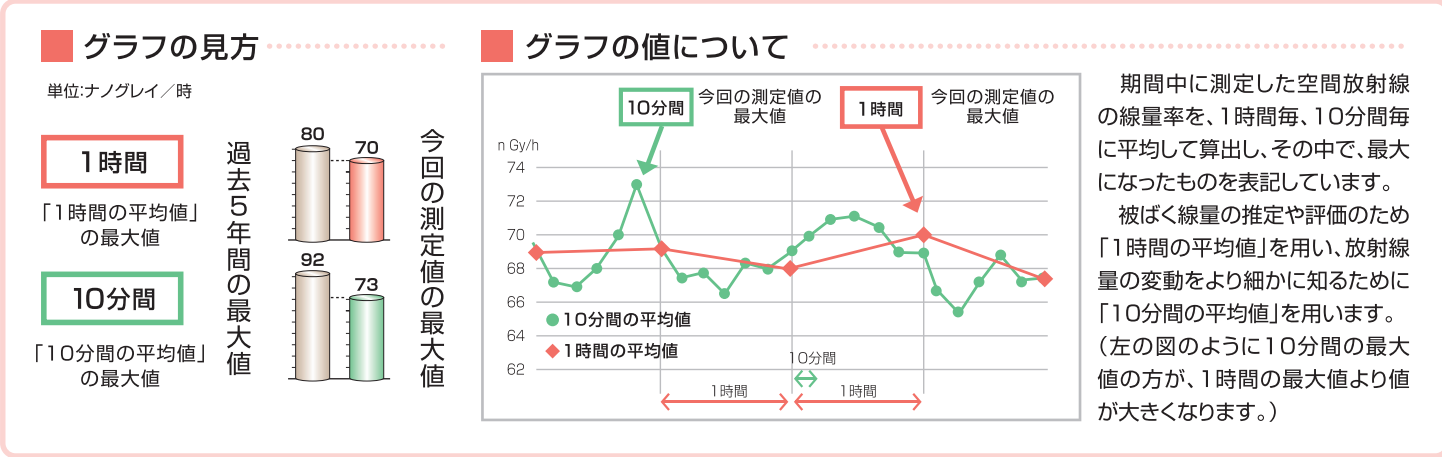
令和8年1月から3月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

今回の調査では、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故や過去の核爆発実験等による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。(詳細は次ページ)

令和8年1月～3月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

空間の放射線の測定（1時間平均値 および 10分間平均値の最大値）

モニタリングステーション（14か所）において、常時、空間放射線の量を測定しています。令和8年1月から3月の間の測定結果で過去5年間の最大値を超えた地点はありませんでした。測定された値は、東電事故等の影響は認められず、自然放射線由来のものです。



測定結果から、自然放射線による外部被ばく線量は、年約0.29mSvとされています。（日本平均約0.33mSv、世界平均約0.48mSv※）
※生活環境放射線（国民線量の算定）第3版 令和2年11月（公益財団法人 原子力安全研究協会）から引用

農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和8年1月から3月の間に測定した試料の一部※は、過去（震災前）5年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準*等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響によるものと推定しました。

※測定した11試料32検体のうち、3試料3検体（土壌1検体、キャベツ1検体、原乳1検体）
*食品衛生法に基づく基準値（参考欄参照）

代表的な試料の放射性セシウムの測定値の最大値



代表的な試料の放射性ストロンチウムの測定値の最大値



放射能調査に用いる単位

- グレイ(Gy).....

放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位
- シーベルト(Sv)...

吸収線量を基に人体への影響を考慮して算定した線量の単位
- ベクレル(Bq).....

放射能の強さを表す単位
- 《参考》ミリ(m).....

1/1,000

千分の1
- マイクロ(μ)...

1/1,000,000

百万分の1
- ナノ(n).....

1/1,000,000,000

10億分の1